

# 知っていますか？

12月3日～9日は障害者週間です

# 障害に関するマークいろいろ

まち中には障害に関するたくさんのマークがあり、それぞれに大切な意味があります。これらのマークは障害のある人だけでなく、その周囲にいる全ての人に対して表示される物です。身の回りのどこにあるか、ぜひ探してみてください。今まで気付かなかった場所にもあるかもしれません。そして、**支援や配慮の必要な人がいることに気づき、思いやりの行動をお願いします。**

## オストメイトマーク



オストメイト（人工肛門・人工ぼうこうの使用者）が利用できるトイレの入口に表示されています。「オストメイト対応トイレ」では、排せつ物の処理やストーマ装具の交換などができます。

## 耳マーク



聴覚障害のある人をサポートするためのマークです。このマークが表示されている施設の窓口では、筆談等のコミュニケーションができます。

## 障害のある皆さんに聞きました



Sさん

**Q 生活で困ることはありますか？**

**A** 私は耳が聞こえません。問合せの窓口やイベントの申込などは、電話番号のほかに、FAX 番号やメールアドレス、ホームページ等も一緒に載せてほしいです。生活では、宅配便の再配達依頼でドライバーに電話ができなかったり、車内アナウンスが聞こえなかったり、病院で手話通訳の人がいなくて困ったりします。耳マークが社会に浸透し、理解が広まればいいなと思います。

**Q 困っているときに助けてもらったことはありますか？**

**A** 電車が事故で止まったときに、メモを使って周りの人に助けを求めたところ、駅員室まで連れて行ってきて、駅員さんが丁寧に対応してくれました。

**Q 読者の皆さんに一言お願いします。**

**A** 地域にはいろいろな障害のある人がいて、一人ひとり頑張って生活していることを知ってほしいです。



Iさんとジーン（盲導犬）

階段を降りる様子

**Q 生活で困ることはありますか？**

**A** 私は、障害物や段差があることを盲導犬から正しく伝えてもらわなければ、安全に移動できません。そのため、自分のペットを近づけたり、声を掛けたり、触ったり、盲導犬の気を引くようなことは避けてください。外で歩いているとき、盲導犬ではなく私自身が周りの音を聞いて進む・止まるを判断しているので、常に注意が必要です。また、お店にスムーズに入店できずに困ることもあります。

**Q 困っているとき、どんな対応をしてけると助かりますか？**

**A** 信号の色や交差点を安全に渡れるかを声に出して教えてもらえると助かります。また、まち中で「こんにちは」と声を掛けてもらうことがありますが、誰に向けた挨拶かわからないので、「盲導犬を連れてくる方」など、私だと認識できる声掛けをしてもらえるとうれしいです。

**Q 読者の皆さんに一言お願いします。**

**A** 困ることはその場その場違います。私が困っている様子だったら、一声掛けてもらえるとうれしいです。盲導犬を連れてくるのが「特別」ではなく、「普通」に感じる社会になればいいなと思います。



Mさん

**Q 生活で困ることはありますか？**

**A** 私は精神疾患を抱えていて、人が多いところに行けなかったり、トイレに行く回数が多いです。外出する機会も減りました。電車やバスには長時間乗れないので、各駅停車の車両にしか乗ることができません。各駅停車でも、2～3駅で降りてトイレに行ったり休んだりします。

**Q 困っているとき、どんな対応をしてけると助かりますか？**

**A** ヘルプマークを着けている人は、見た目では分からない辛さを持っている場合も多いので、電車などで困っている姿を見かけたら、声を掛けるなど気に掛けてもらえるとうれしいです。

**Q 読者の皆さんに一言お願いします。**

**A** ヘルプマークを着け始めてから、何回か声を掛けてもらったことがあり、関心を持ってもらえてうれしかったです。マークを着けているということは、配慮してもらいたいという意思表示なので、少しでも気に掛けてもらえるとうれしいです。

## 盲人のための国際シンボルマーク



視覚障害のある人の安全やバリアフリーに考慮した建物や設備で見られ、押しボタン式信号機などに表示されています。

## ほじょ犬マーク



身体障害者補助犬（目が不自由な人を誘導する盲導犬・耳が不自由な人を誘導する聴導犬・手足が不自由な人を手伝う介助犬）同伴の啓発のため、施設や店舗等の入口に貼るマークです。公共施設のほか、コンビニ・ホテル・レストランなどの民間施設に表示されています。

## 障害者のための国際シンボルマーク



障害のある人が利用できる建物や公共交通機関に表示されています。車いす利用者だけでなく障害のある全ての人が対象です。

## ヘルプマーク



支援や配慮を必要としていることを伝えるためのマークです。内部障害や難病の人、精神疾患・知的障害のある人、妊娠初期の人など、外見からは分からない人も含め、支援や配慮を必要とする全ての人が対象です。マークは、区役所高齢・障害支援課(1階11番・13番窓口)で配布しています。

## 聴覚障害者マーク



普通自動車免許に、聴覚障害であることの条件を付されている人が運転する場合、自動車に表示します。

## 身体障害者マーク



普通自動車免許に、肢体不自由であることの条件を付されている人が運転する場合、自動車に表示します。

危険防止のためやむを得ない場合を除き、これらのマークを表示している自動車に対して、幅寄せや割り込みをした場合、道路交通法違反になります。

## 災害時には

### 災害時コミュニケーションボード



話し言葉によるコミュニケーションが難しい人の中には、イラストを使用することで自分の意思を伝えることができる人もいます。災害時コミュニケーションボードは、彼らと周囲の人たちをつなぐ話し言葉に代わる手段の1つです。

### 一支援合おう 黄色と緑のバンダナ



市では、災害時、配慮が必要な障害のある人が支援を受けられるよう、「配慮が必要」な人は黄色、「支援ができる」人は緑色のバンダナを身に付ける取組を進めています。